



発刊にあたって

粉体技術誌発刊にあたって

大川原 武

先ずは、当協会の長年の懸案でありました機関誌が発刊できましたことを皆様と共に喜び申し上げます。

皆様方よくご承知の通り、これまで約40年間、粉体と工業社発行の月刊「粉体と工業」誌の紙面をお借りする形で、これを当協会の監修誌としてまいりました。そしてまた一方、約20年前より毎月 APPIE NEWS を協会と会員の皆様とをつなぐもの、および、より一層ニュース性を持った内容として小浜氏編集により総務委員会発行の形で続けてまいりました。

しかしながらここ数年前より、この重複性を考え直して、正規の協会機関誌の発行をすべしとの機運が高まっておりました。そして昨年、江見会長のご英断と粉体と工業社の高橋社長のご理解とご協力を得て、ここに協会機関誌「粉体技術」発刊の運びとなりました。協会広報の任務も担う総務委員会としても大変喜ばしいことであります。

次に、機関誌の名称について申し上げます。「粉体技術」は名称検討の最初から言わば自然的に候補として上がっておりました。これに対してもう一つは、当協会は粉体の学問的技術というよりは、粉体に関連する工業における技術であるから「粉体工業技術」とすべきとの案がありました。確かにこの名称の方が協会活動の目的を正しく表しているとも言えますが、検討の結果、鉱工業に限定した印象を持たずにもう少し幅広い意味を持たせたいことと、名称の字数は少ない方が良いとの見

方から、検討の結果「粉体技術」に決まった次第であります。

もとより、機関誌発行の目的は、協会設立の目的・趣旨を果たす活動の補助となることですが、協会と会員および会員相互のコミュニケーション促進の手段として役立つことであります。

掲載内容は、粉体に関するあらゆる技術を中心に、粉体領域に関する最新情報、マーケティング、マネジメントおよび海外情報など幅広いものとし、粉体関連業務に携わる方々への有力情報誌となることを目指しております。

さらに、読者の皆様に親しみを持っていただくために、趣味趣向的なページやコラム、次号が待ち遠しくなるような連載ものも将来は掲載可能と巾を持たせてあります。

配布先・販売先等は、企業および個人の協会会員は勿論、これまでの「粉体と工業」の定期購読者、大学・公的機関等の定められた献本先と、将来は主要書店での販売も視野に入れております。

大矢編集委員長はじめ編集委員の皆様は大変張り切っておられます。どうか会員の皆様のご支援ご鞭撻を戴いて、「粉体技術」が、ますます充実し発展してゆき皆様のお役に立つことを願ってやみません。よろしく願い申し上げます。

Takeshi OKAWARA

(株)大川原製作所 代表取締役会長

(社)日本粉体工業技術協会 副会長 (総務広報担当)

総務委員会 委員長